

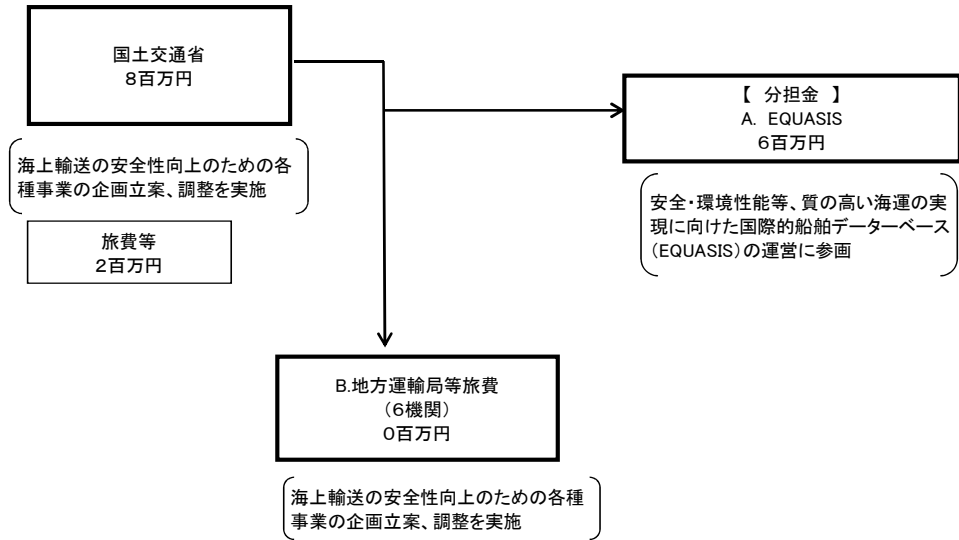
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	海上輸送の安全性向上のための総合対策		担当部局	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H21~		担当課室	安全政策課		課長 加藤 光一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海上交通の現状等を踏まえた安全・環境性能の高い船舶の開発・普及や国際的な取り組みの強化による船舶の安全・環境性能の底上げを図るとともに、新たなニーズに対応した安全輸送基準の導入を図り、海上輸送の安全性向上を図ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	各種安全対策の実施にも関わらず、海難隻数は概ね横ばいであり、そのうちの約半数を占める衝突の多くは人的要因に起因している。こうした状況を踏まえて、人的要因等の事故の背景にある船舶を取り巻く社会環境の変化をも考慮した効果的な安全対策をソフト・ハード一体となって総合的に推進するため、EQUASIS監督委員会で定めた国際的船舶データベース(2012年は月間1,900,000アクセス)運営費の日本国分担当金を支出。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	11	10	9	13	309	
	執行額	11	9	8				
	執行率(%)	100%	82.5%	85.3%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は国際約束に基づく拠出金が主体であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は国際約束に基づく拠出金が主体であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績(当初見込み)					-
					()	()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国際民間航空機関等拠出金	5,564千円	5,668千円	平成26年度においては、近年急速に大型化が進む背景の中で発生した、コンテナ船の折損・損壊事故を受け、大型コンテナ船に係る新たな安全基準の策定及びその国際基準化を図るための経費を要求するため、増額が必要となった。 要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」293				
	職員旅費	3,827千円	5,562千円					
	公共交通等安全対策調査費	3,990千円	297,008千円					
	諸謝金	-	601千円					
	委員等旅費	-	313千円					
	計	13,381千円	309,152千円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	海難事故を減らし人命を守るための安全対策を講じることは国が優先して行うべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	本件予算は、支出先・使途とも事業目的に合致した必要最小限のものである。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	EQUASISの国際的船舶データベースは、船舶や運航者に関する幅広い透明性のある情報を1つに集約し、インターネットのホームページ上に公開する情報システムであり、海難事故が発生した場合やPSC(ポーツテートコントロール)に際し、迅速且つ的確な対応が可能となっている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
重複排除	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>拠出金については、他の加盟国との連携を図りつつ、引き続き適正な支出及び運営を求めていくこととする。</p> <p>その他経費については、競争性の確保を図り、支出先の使途の把握を通じ契約内容の点検・見直しを行う等、適切な予算の執行に努める。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>その他経費については、真に必要な経費の計上を図るとともに、競争性の確保を図り、支出先の使途の把握を通じて、事業実施の効率化を図るべきである。</p>					
	<p>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</p>					
執行等改善	<p>事業実施にあたっては、一般競争入札や企画競争により競争性を確保するなど、効果的かつ効率的に事業を実施する。</p>					
	<p>備考</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	336	平成23年	312	平成24年	323

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. EQUASIS			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	運営費用(運営費計468,000ユーロを参画する9ヶ国で均等割)	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	海上輸送の安全性向上のための調整等	0			
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	EQUASIS (European Maritime Safety Agency)	船舶の安全情報を非商業目的として提供するデータベース「EQUASIS」を運営する 国際約束により設置された機関	6	—	—
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北運輸局	海上輸送の安全性向上のための各種事業の企画立案、調整を実施	0	—	—
2	中国運輸局	〃	0	—	—
3	北陸・信越運輸局	〃	0	—	—
4	中部運輸局	〃	0	—	—
5	四国運輸局	〃	0	—	—
6	北海道運輸局	〃	0	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—